

U-34-3743

[illegible]

焦点

焦点

ハ学光星は終盤に突き放されて2回戦で姿を消した。佐々木彰彦コーチ

は「シユートを決め切ることは第3クォーターのことよりパウンドの確保が大事だった。事前分析ができた。相手の後半に力が入ることを狙って、前半に力を入れておくことができた。だが、守り切った直後にチャンスを与えたり、リバウ

○男子で2通期を狙う福岡大大瀬は、2年生の本田が躍動した。3点シュート3本にドリブル突破からの得点など、内外のバランス良く決めた。ブザーが鳴るまで

大濠2年生
本田が躍動

育た佐藤助教監督が2023年6月に亡くなってから初の冬の勝利。本山監督は「日本一を目指すのは毎年変わらない」と淡淡と語った。

仙台大明成
3年ぶり白星

主力の3年生は前監督が最後に勧誘した学年。

○男子の仙台大明成が3大会ぶりの白星を快勝で飾った。米プロNBハリーカーズで活躍する八村ら多くのプロ選手を

3点シュートを10本中5本決めるなど、26得点でチームを勢いづけた司令塔の小田嶋は「この試合のいいことも悪いことも忘れて、切り替えて臨みたい」と次戦へ意気込んだ。

第4Qも点差は開き、精神的に苦しい戦いに。それでも選手たちは互いの声をかけ合いながら、終了のブザーが鳴るまで

○：男子で2連覇を狙う福岡大犬塚は、2年生の本田が躍動した。3点シュート3本にドリブル突破からの得点など、内外のバランス良く決め

2年生が主体のチーム。ゲームキャプテンを務めてきた角谷は3年生への感謝を口にしつつ「全国トップレベルのプレーの強度を感じることができた。この経験を絶対に次に生かしていきたい」と強い決意をにじませた。

てチーム最多の24点を挙げ、「14得点だった」初戦より中に入っていく得点が増えて、改善できた」と涼しい顔で語った。

身長190センチでU18（18歳以下）日本代表。片峰監督が「切れ味と強さ、伸びのあるドライブが持ち味」と評し、日本

【二回戦・八学光星】堀岡第一【第4クオーター・八学光星は角谷光輝斗（五）が3点シュートを放つ】東京体育館

代表候補入りした白谷とともに攻撃の軸を担う。期待の点取り屋は、落としていくシュートも多いので、もっと取ってきたい」と貪欲に語った。

